



1 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名: ミニタン WG (コニオチリウム ミニタンス水和剤)
- 1.2 用途: 殺菌剤 (微生物農薬)
- 1.3 会社情報: 会社名 石原産業株式会社
住所 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
担当部門 三重県四日市市石原町1番地
石原産業株式会社 環境安全衛生統括グループ
電話:059-345-6205 FAX:059-345-6206
- 1.4 緊急連絡先: 会社名 石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
電話:059-345-6118 FAX:059-345-6180
- 1.5 作成日: 2011年5月18日
改訂日: 2020年10月23日④

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先: 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

2 危険有害性の要約

2.1 化学品の GHS 分類

物理化学的危険性:

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感受性	分類できない

皮膚感作性	区分 1A
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性:	
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層有害性	分類できない

2.2 GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険/警告

危険有害性情報: H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き:

【安全対策】 安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

P261 粉じんの吸入を避けること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】 応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。

P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。

P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

【保管】 保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

【廃棄】 廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

P501 内容物/容器は、国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3 その他の危険有害性: 特になし

3 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物

3.2 成分:

一般名	ミニタン	その他
学術名	コニオチリウム ミニタンス <i>Coniothyrium minitans</i> (strain: CON/M/91-08)	—
有効活成	1g当たり 5×10^8 有効孢子能	ノウハウのため非公開



4 応急措置

4.1 応急措置の記載

- | | |
|--------------------|--|
| 眼に入った場合: | 直ちに、清浄な水で最低 15 分間洗浄する。 |
| 皮膚に付着した場合: | 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。 |
| 吸入した場合: | 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
気分が悪い時は医師の診断／手当を受けること。 |
| 飲み込んだ場合: | 水でよく口の中を洗浄すること。
気分が悪い時は医師の診断／手当を受けること。 |
| 4.2 最も重要な兆候及び症状: | データなし |
| 4.3 医師に対する特別な注意事項: | データなし |

5 火災時の措置

- | | |
|-----------------------|--|
| 5.1 適切な消火剤: | 水, 粉末, 炭酸ガス, 泡消火剤, 乾燥砂 |
| 5.2 使ってはならない消火剤: | データなし |
| 5.3 特有の危険有害性: | データなし |
| 5.4 特有の消火方法: | 小さな火災の場合は、水・粉末・炭酸ガス・泡消火剤で消火を行い、消火活動は風上より行う。
大規模火災の場合は、乾燥砂、泡消火剤等を用いて空気を遮断する。 |
| 5.5 消火を行う者の保護具及び予防措置: | 消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行かない有害ガスの吸入を避ける。 |

6 漏出時の措置

- | | |
|----------------------------|---|
| 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: | 適切な保護具を着用する。
多量の場合は人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外を立入禁止にする。 |
| 6.2 環境に対する注意事項: | データなし |
| 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材: | スコップ、箒、掃除機等を用いて回収する。 |
| 6.4 二次災害の防止措置: | 安全に対処できるならば漏洩を止めること。 |

7 取扱い及び保管上の注意

- | | |
|------------|--|
| 7.1 取扱い: | |
| 技術的対策: | 粉じんの吸入を避けること。 |
| 安全取扱い注意事項: | 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意すること。
使用の際は、農薬用マスク・手袋・不浸透性防除衣などを着用するとともに、保護クリームを使用すること。
かぶれやすい体質の人は、作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触は避けること。
本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
夏期高温時の使用は避けること。 |



安全データシート

接触回避:	本剤は、殺菌剤・乳剤等の有機溶剤を含む薬剤および酸性・アルカリ性を示す薬剤とは混用しないこと。
衛生対策:	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 作業後は、直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣類を交換すること。 着用していた衣服等は、他のものと分けて洗濯すること。
7.2 保管:	
安全な保管条件:	湿度を避け、専用の容器に入れ、4℃以下で保管すること。 抗菌剤とは避けて保管すること。 本剤の有効成分は、生菌であるので、開封後は全てを使い切ること。
安全な容器包装材料:	データなし

8 ばく露防止及び保護措置

8.1 許容濃度等:	
管理濃度:	設定されていない
許容濃度:	設定されていない
8.2 設備対策:	局所排気装置
8.3 保護具:	
呼吸用保護具:	農薬用マスク
手の保護具:	ゴム手袋・ビニール手袋
目、顔面の保護具:	ゴーグル
皮膚及び身体の保護具:	不浸透性防除衣(ビニール合羽等)
その他	保護クリーム

9 物理的及び化学的性質

9.1 物理状態:	顆粒
9.2 色:	暗灰色
9.3 臭い:	菌特有の臭い
9.4 融点/凝固点:	約 146℃
9.5 沸点又は初留点及び沸騰範囲:	データなし
9.6 可燃性:	データなし
9.7 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	なし
9.8 引火点:	データなし
9.9 自然発火点:	なし
9.10 分解温度:	データなし
9.11 pH:	6~7(100 g/L, 水 20℃)
9.12 動粘性率:	データなし
9.13 溶解度:	溶解しない
9.14 n-オクタノール/水分係数:	データなし
9.15 蒸気圧:	データなし
9.16 密度:	460~500 kg/m ³ (20℃)
9.17 相対ガス密度:	データなし
9.18 粒子特性:	データなし

10 安定性及び反応性

10.1 反応性:	4℃以下で6ヶ月間安定
-----------	-------------



安全データシート

10.2	化学的安定性:	4°C以下で6ヶ月間安定
10.3	危険有害反応可能性:	データなし
10.4	避けるべき条件:	データなし
10.5	混触危険物質:	データなし
10.6	危険有害な分解生成物:	データなし

11 有害性情報

11.1	急性毒性:	経皮 2g/動物で毒性は認められない(ウサギ) (以下、有効成分) 経口 10 ⁸ CFU/匹で感染性、病原性、生残性及び毒性は認められない(ラット) 経気道 10 ⁸ CFU/匹で感染性、病原性、生残性及び毒性は認められない(ラット) 静脈内 10 ⁷ CFU/匹で感染性、病原性、生残性及び毒性は認められない(ラット)
11.2	皮膚腐食性/刺激性:	刺激性なし(ウサギ)
11.3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	ごく弱い刺激性あり(ウサギ)
11.4	呼吸器感作性又は皮膚感作性:	呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: 感作性あり(モルモット) ガイドライン「微生物農薬の登録申請に係る安全性評価に関する試験成績の取扱いについて」(9農産第5090号農林水産省農産園芸局長通達、平成9年8月29日)に従い試験した結果、全例(10例)で陽性反応が認められたため、区分1Aとした。
11.5	生殖細胞変異原性:	データなし
11.6	発がん性:	データなし
11.7	生殖毒性:	データなし
11.8	特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データなし
11.9	特定標的臓器毒性(反復ばく露):	データなし
11.10	誤えん有害性:	データなし

12 環境影響情報

12.1	生態毒性:	水生環境有害性 短期(急性)
		イデ LC ₅₀ >1.8 × 10 ⁹ CFU/L(96時間)
		(有効成分)
		オオミジンコ EC ₅₀ >1.8 × 10 ⁹ CFU/L(48時間)
		藻類 ErC ₅₀ >1.8 × 10 ⁹ CFU/L(72時間)
		水生環境有害性 長期(慢性)
		コイ NOEC 2.8 × 10 ⁹ CFU/L(30日)
		(有効成分)
		オオミジンコ NOEC 2.7 × 10 ⁷ CFU/L(21日)
		その他
	鳥毒性	ウズラ 経口 10 ⁸ CFU/羽で影響なし
	昆虫毒性	セイヨウミツバチ 影響なし
		カイコ 影響なし
		チリカブリダニ 影響なし
		ククメリスカブリダニ 影響なし
		タイリクヒメハナカメムシ 影響なし



安全データシート

- 12.2 残留性・分解性: データなし
12.3 生体蓄積性: データなし
12.4 土壤中の移動性: データなし
12.5 オゾン層への有害性: 本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13 廃棄上の注意

内容物／容器を国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

- 13.1 内容物の廃棄: 法・条例に従って安全に処理する。
13.2 容器の廃棄: 内容物を使い切った後、適切に処理する。

14 輸送上の注意

- 14.1 国連番号: 該当しない
品名: —
国連分類: —
容器等級: —
14.2 海洋汚染物質: 該当しない
14.3 MARPOL73/78 附属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質: 該当しない
14.4 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策: 定められた密閉の袋に入れ、運搬に際しては、箱の落下損傷がないよう積み込み荷崩れの防止と水漏れや乱暴な取扱を避ける。
14.5 国内規制がある場合の規制情報: 陸上規制情報: 該当しない
航空規制情報: 航空法の規制に従う
海上規制情報: 船舶安全法の規制に従う
14.6 応急措置指針番号: 該当しない

15 適用法令

- 農薬取締法: 農薬登録番号 第21970号
毒物及び劇物取締法: 該当しない
消防法: 該当しない
労働安全衛生法: 第57条(表示対象物質) 該当しない
第57条の2(通知対象物質) 該当しない
化審法: 該当しない
化管法: 第1種指定化学物質 該当しない
第2種指定化学物質 該当しない

16. その他の情報

本剤は、菌核病菌にのみ寄生する菌寄生菌であり、生物的防除剤です。

石原の農薬(石原産業株式会社)

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室

0120-1480-57(フリーダイヤル)

※石原バイオサイエンス(株)の全国の支店のうち、最寄りの事業地につながります。



製品名: ミニタン WG (コニオチリウム ミニタンス水和剤)

SDS No. A-1154

安全データシート

作成日 2011年5月18日

改訂日 2020年10月23日④

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499(情報料無料)

365日24時間対応

(つくば) 029-852-9999(情報料無料)

365日9~21時対応

中毒110番 医療機関専用有料電話 (大阪) 072-726-9923(1件2000円)

365日24時間対応

(つくば) 029-851-9999(1件2000円)

365日9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合、情報提供料は有料(1件につき2,000円)となります。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253:2019に基づいて作成しています。

記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。